

(敬称略)



小学生の時から目指してきた愛知駅伝に出場し、タスキをつなげることがすごくうれしかったです。市の部を含めた総合で1位が取れず悔しかったですが、来年また選手になれるよう頑張ります。

1区 古川 蒼椛



前回の大会ではサポート選手で走れず、とても悔しい思いをしました。今回は本選手として阿久比町の優勝に貢献することができて良かったです。

2区 牧山 朋生



チームでは優勝、個人でも5人を抜いての区間賞という最高の結果を残すことができました。次回は自分が中学生代表として弟と一緒に出場できるように練習を頑張ります。

3区 竹村 風翔



総合で5位、町村の部で優勝できたことに喜び感動しました。この阿久比町チームの一員として陸上をできることに感謝しています。連覇できるよう、またみんなで頑張っていきたいです。

7区 近藤 直樹



自分の走りで阿久比町チームの優勝に貢献することができ、また区間賞も獲得できてうれしく思います。今回の愛知駅伝を大いに楽しむことができました。

8区 仙石 旭

第15回 町村 3度目



「愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会(略称 愛知駅伝)」が、1月14日に長久手市にある愛・地球博記念公園で開催されました。今大会は新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催。県内各市町村を代表する小学生以上のランナーたちが、9区間全30.6キロメートルのコースでタスキをつなぎました。

前回大会では惜しくも優勝を逃し、今大会では絶対に優勝するという強い気持ちで臨んだ阿久比町チーム。選手たちは日々の厳しい練習を乗り越え、本番に向けて調整してきました。大会当日はレース中盤まで雨が降る厳しいコンディションでしたが、選手たちは力強い走りを見せてくれました。

1区の前古川蒼椛さんは中学1年生ながら区間賞をとる堂々とした走りでした。2区の前牧山朋生さんは1位をキープし、3区の前竹村風翔さんは快走し区間賞を獲得。4区の前岡田なのはさん、5区の前吉川心菜さんは区間2位の快調な走りを見せ、6区の前竹内麻里子さん、7区の前近藤直樹さん、8区の前仙石旭さんは区間賞となる力走で、市の部を含めた総合2位まで順位を引き上げました。アンカーの前古川淳一さんは区間4位の粘りの走りでゴールテープを切りました。阿久比町チームは

